

色麻町

伊達神社



^{いだて}伊達神社は、平安時代の初頭、延暦年間（西暦800年頃）に坂上田村麻呂が蝦夷を征討するとき^{かんじょう}勧請され、数百器の^{かめ}甕を積み重ねて創建されたと伝えられています。

平安時代にまとめられた^{えんぎしきじんみょうちょう}「延喜式神名帳」にも“色麻郡 伊達神社”と記されており、^{えんぎしきないしゃ}由緒正しい「延喜式内社」のひとつです。伊達神社は今から1,500年前、袋地区にある県指定史跡「^{ねやし}念南寺古墳」と同時期に造られた「^{おやま}御山古墳」の上に建っています。当時から神聖な場所、あるいは政治上重要な場所だったのかもかもしれません。

現在でも、1月には1年間の無病息災・家内安全等を祈願するどんと祭 裸参り、5月には例大祭が行われており、町民の暮らしと縁の深い神社となっています。